

ガイド記録

対 象 : ハミングツアー 〒959-2637 新潟県胎内市長橋 125-1

TEL 0254-44-1360 、 FAX 0254-44-1361

40名 (男性10名、女性30名 内添乗員1名)

担当ガイド : リーダー青木 誠二 : 1班、 阿久澤 猛 : 2班、 清水 岩夫 : 3班、 小池 寛喜 : 4班

登山実施班と人数 : 1班 8名、2班 8名、3班 8名、4班 10名 棄権待機者 6名

事務局 : 小林 善紀

日 時 : 平成29年5月13日 9:45~15:15

場 所 : 赤城山 黒檜山・駒ヶ岳

9 : 4 5 赤城公園ビジターセンターにガイドと事務局5名集合

大雨、強風、視界不良(20~30m)の悪天候下の対応を打ち合わせ

遭難の危険3条件が揃った状況下を共有

9 : 3 2 ハミングツアー添乗員 井上憲子さんから関越自動車道の赤城インターを出た連絡が入った。

10 : 2 0 おのこ駐車場到着 登山参加者トイレ等準備を済ませた後、ガイドもバスに同乗し、車中でガイドの自己紹介と遭難の危険3条件が揃った状況下である旨伝えた。結果6名の登山棄権者の申し出があった。

10 : 4 0 大沼側黒檜登山口へ向けて出発 10 : 4 3 : 登山口到着、登山準備

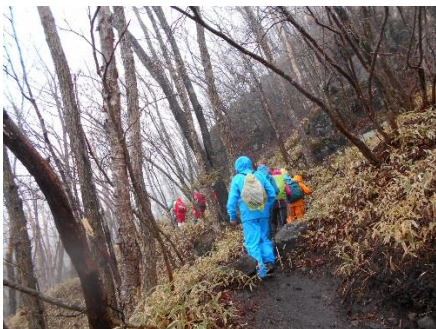


10 : 5 5 登山開始

11 : 1 4 登山中

12 : 4 1 頂上手前

12 : 4 4 山頂間近の三叉路



12:55 黒檜大神にて昼食



13:15 おおだるみへ下山準備



13:43 おおだるみ



13:58 駒ヶ岳 山頂



14:35 下山途中でアカヤシオ撮影



14:56 おのこ駐車場到着



14:58 全員無事を確認後、ガイド終了

15:15 ガイド解散

ガイド4名、事務局1名 ふりかえりの打ち合わせを行った。

落伍者が出なかった理由は、悪天候下の実行であり、1名でも途中棄権者が出たら全員下山する旨共有し、登山開始前に6名の棄権者の申し出があり、下で待機頂いた。

ガイド担当者のコメント

青木 誠二

5/13 黒檜山駒ヶ岳登山ハミングツアーガイドについて、

今回の天候は風雨が強く荒天となる予報の中、事務局から大替え案を提示しましたが、お客様の黒檜山登山の要望が強く予定のコース実施となり、登山に不安のあるお客様には事前にバスで待機していただく方法で実施、4班に小

分けして、メンバーの状況を見ながらの登山となりました。

山頂付近はやはり雨風が強く、昼食は場所を変更し黒檜大神の脇で、行程中の休憩もこまめに声掛け、メンバーの状況を見ながら実施して、無事下山することができました。

悪天候時のガイドとして今回お客様の状態状況を声掛けを多くして把握し、休憩のタイミング等実施できたのが良かったと思います。

また今回特にお客様皆様が健脚であり、視界不良の中で愚痴も言わずに無事けがもなくタイムスケジュール通り下山できました。

阿久沢 猛

一度、天候が荒れればスリップ・転倒・低体温症など事故発生のリスクの大きい黒檜山登山。

幸い、登山前の注意が功を奏したのか、それとも偶然が重なっての無事故だったのかは、はっきりしないが、全員無事下山できたのでホットした。

今回を含めて、赤城黒檜山登頂を目指す登山客は、日本百名山の100分の1の山としかカウントしない人が多いのには寂しい気持ちである。

赤城山とは総称しての名山であり、季節や天候などを含めたPRをどうすればよいのか、一層考えさせられた今回のガイドでした。

清水 岩夫

5月の山登りは天候への対応が大変というが、まさしくそれを実感するものであった。今回のハミングツアーのお客様は登山経験者だったので問題なく終了することができたが、黒檜山までの直登による発汗後の低体温症の危険が、山頂での休憩時に可能性としてあった。

集団での登山では、あらゆる危険の可能性をガイド同士が共有し合えるような事前打合せをしていれば、より快適な山行を提供できたのでは、と実感した。

小池 寛喜

体温維持・足元・視界の条件が悪く、一般登山の遭難要素を体験するツアーになる事、我々地元ガイドと一緒に歩くから実施出来る事を伝え、理解を得られたのは良かった。

バス待機の方へのフォローが十分でなかった事は反省点だ。

我々は、あの状況下で動けない人が出た場合に適切に処置する訓練(机上含む)や申し合わせをしておく時間を取りたい。

40名のツアーは巨大で、ガイド4名+事務局は必要だろう。

今回ペースを抑え一団で歩けたが、展望が利く場合には小グループが離れ易いので連絡を取り合える準備をしておきたい。